

## アルコール商品に含まれる純アルコール量をホームページで表示開始

～「キリングroup CSV パーパス」酒類メーカーとしての責任、アルコールの有害摂取の根絶に向けて～

キリンホールディングス株式会社（社長 磯崎功典）は、アルコールの有害摂取の根絶に向けた取り組みの一環として2021年5月27日（木）から、当社が国内で販売する主なアルコール商品※に含まれる純アルコール量を、当社ホームページにて開示します。

※対象は、キリンビール株式会社（永昌源含む）、メルシャン（ワインを除く）が販売する商品。一部商品を除く。

### 【表示例】



商品名	原材料	表示単位	アルコール分 (%)	純アルコール量 (g)	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (g)		食塩相当量 (g)	その他の表示成分	プリン体* (mg)	栄養成分等備考	
								糖質 (g)	食物繊維 (g)					
キリン一番搾り生ビール 350ml 缶	麦芽（外国製造又は国内製造（5%未満））、ホップ	100ml当たり	5	4	40	0.4	0	2.7	2.6	0～0.2	0	-	9.0	-

アルコールを取り巻く環境は、2010年にWHO（世界保健機関）で「アルコールの有害な使用を低減するための世界戦略」が採択され、SDGs（持続可能な開発目標）の健康分野でも目標の1つとして明記されるなど、社会全体で協議しながら取り組むべきグローバルな課題として位置づけられており、業界としてアルコールの有害な摂取の低減に向けて取り組んでいます。国内では当年3月にアルコール健康障害対策推進基本計画（第2期）が閣議決定され酒類業界のアルコール関連問題への取り組みは加速しています。

キリングroupの事業環境においても、アルコールの有害摂取による健康課題など、企業への社会課題解決の期待の高まりを背景に、アルコールの有害摂取根絶(Zero Harmful Drinking)に向けた取り組みを着実に進展させ、次世代にお酒の文化を継承していきます。その一環として、お酒の時間をゆっくり楽しみ、誰かと語り合いながら、食事のおいしさによりこび、ほどよく飲んで、スマートに心地よく過ごすことを、「スロードリンク®」と呼び、新しい時代のお酒の楽しみ方として推奨しています。今後も、酒類メーカーとして適正飲酒啓発活動の中で、新たなお酒の価値なども提案していきます。

キリングroupは、「酒類メーカーとしての責任」を果たし、「健康」「地域社会・コミュニティ」「環境」という社会課題に取り組むことで、こころ豊かな社会を実現し、お客様の幸せな未来に貢献します。

### <参考>

・原材料名・栄養成分等一覧（一例としてビール、発泡酒、新ジャンル、ノンアルコール・ビールテイスト飲料の表示）

<https://kirinproducts.jp/alcohol/nutrition/beer/>

・商品・品質情報（一例として「キリン一番搾り生ビール 350ml 缶」の表示）：

<https://kirinproducts.jp/alcohol/beer/detail.html?id=2444>